

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：栃木県 大田原市

◆コンセプト：地域共生社会を目指して、「健康長寿・生涯活躍」を実現するまちづくり

これまで取り組んできた各日常生活圏域における地域包括ケアシステムの体制を活かし、高齢者支援だけでなく、あらゆる分野の課題解決に向けた地域が主役のまちづくり。

<特徴>

移住ありきではなく、今住んでいる人たちが生まれてから最期の時まで住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせる地域づくりを地域住民が主体となって取り組むことで、関係人口を増やす。

県北・八溝山周辺の豊かな地域資源や医療福祉をはじめとした都市機能集積を背景に、全市のなまづくり、産業振興、地域包括ケアシステム等を基盤として、各地区の住民等をはじめとする多様な分野の担い手・施策が連携した展開により、地区ごとに特性を活かした「生涯活躍」が実現され、多世代共生の持続的な地域発展につながっていく。

◆3つのコア機能を組み合わせ、各地域での展開

本市の中学校区単位での「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」等の取組基盤を活かして、全市的な「健康長寿・生涯活躍」の推進に向けて、地域ごとに以下の3つの機能の組み合わせで展開していく。

- ◎コミュニティ機能（地域単位で備える基礎的機能）
- ◎まちなか機能（中心市街地、小さな拠点等）
- ◎大学等連携機能（地域を越えた本市の特徴的機能との連携）

◆概ね中学校区単位での「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」の基盤

「生涯活躍」「地域包括ケアシステム」は、概ね中学校区、日常生活圏域ごとに住民等の主体的取組を活かす形で多様に展開されている。

- ・自治会（地区単位）
- ・生涯学習推進協議会
- ・学校運営協議会
- ・生活支援体制第2層協議体、見守り組織 等



▲地区協議体における地域課題の検討



▲地域高齢者によるサロンと野菜販売

基礎データ

- ・人口：69,953人（R6. 4月時点）
- ・H29.3 「大田原市生涯活躍のまち構想」策定
- ・H31.3 「大田原市生涯活躍のまち基本計画」及び「大田原市生涯活躍のまち形成事業計画（市全域版）」策定
- ・R2.3 「佐久山地区生涯活躍のまち形成事業計画」策定
- ・R5.3 「大田原東部地区生涯活躍のまち形成事業計画」策定

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 地域の見守り組織を中心とした第2層協議体における地域課題の把握
- ほほえみセンターやささえ愛サロンにおける地域の居場所づくり

【今後の展開】

- 高齢者のみならず、全世代による支えあい体制の確立
- 多種多様な地域の居場所の増加と対象者の拡大、担い手の育成
- 交流拠点として廃校等の公有財産を活用

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 安心生活見守り事業、コミュニティ・スクール等に多くの高齢者が参加し、地域の主役として活躍
- シルバー人材センター等において高齢者の就労を支援

【今後の展開】

- 地域活動への高齢者の参加促進をベースに、世代間交流、移住者の受け入れ等により、地域の活躍の場を拡大
- シルバー人材センターの活性化に加え、有償ボランティア等の活動拡大を目指す

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 介護予防事業として、与一いきいき体操やフレイル予防等の取組を各地域で「おたっしやクラブ」として実施

【今後の展開】

- 認知症予防と運動を組み合わせたプログラムを各地域で展開
- 国際医療福祉大学と連携し、地域住民のデータを収集し、介護予防事業の効果を検証

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 空き家等情報バンク及び関連補助金等による空き家の活用
- 大田原市移住定住交流サロンによる移住体験事業を実施

【今後の展開】

- 地域の特色やニーズを踏まえた、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの誘致
- 未利用公有地を活用した分譲住宅地の整備

コミュニティへの人の流れ

- 大田原市移住定住交流サロンによる情報発信、移住体験、イベント等の実施
- 地域おこし協力隊による、移住者や移住希望者等と地域住民との関わり合いを促進

その他特徴的な取組

- 市内13地区の日常生活圏域において、高齢者支援にとどまらない地域全体の課題の把握とその解決策の話し合いが行われており、地域が主体となったまちづくりについて、議論が進められている